

## 今日のキーワード 『訪日客』増加でインバウンド消費は好調

近年の『訪日客』（日本を訪れる外国人旅行者）の増加が日本経済に好影響を与えています。2017年6月には234万7千人、2017年上半期累計は1,375万7千人と、『訪日客』は順調に増加しています。国内消費市場が勢いを欠く中、増加する『訪日客』がもたらすインバウンド消費の増加が、今後とも国内景気の下支え要因となりそうです。

### ポイント1

#### 6月の『訪日客』は234万7千人

2017年上半期累計は前年同期比+17.4%の1,375万7千人

- 『訪日客』数は近年大幅な増加傾向にあります。日本政府観光局（JNTO）が19日に発表した2017年6月の「訪日外客数」（推計値）は、前年同月比+18.2%の234万7千人でした。2017年上半期の累計では1,375万7千人となり、5月には過去最速のペースで1,000万人を超えるなど順調に増加しています。
- 国・地域別に見ると、韓国では格安航空会社を中心に増便されたことで前年同月比+63.8%の大幅増加となり、全体をけん引しました。このほかインドネシアでは、学校休暇や新たに制定された祝日などが旅行需要を押し上げて同+67.3%と、こちらも大幅な増加となりました。

### ポイント2

#### インバウンド消費は過去最高！

買物代が最も多く、次いで宿泊費への支出が多い

- インバウンド消費も堅調に増加しています。観光庁が19日に発表した「訪日外国人消費動向調査」によると、2017年4-6月期の『訪日客』による消費額は、前年同期比+13.0%の1兆776億円と過去最高となりました。また2017年上半期の累計では同+8.6%の2兆456億円と初めて2兆円を突破しました。
- 費目別にみると、買い物代にける金額が多く、1人あたりでは中国の13.1万円をトップにして、全体平均で5.7万円でした。次いで宿泊費にける金額が多く、これは特に欧米豪で高い傾向にあり、英国やイタリアでは10万円超となっています。平均宿泊数が多いことも影響していると考えられます。

『訪日客』数 増加！



### 今後の展開

#### 今後も『訪日客』増加によりインバウンド消費は好調が期待される

- 『訪日客』1人当たりの旅行支出は前年同期比▲6.7%の14万9千円と減少しましたが、『訪日客』の数が堅調に増加していることから、『訪日客』による消費総額は、増加傾向が続いています。百貨店売上高では、国内市場が縮小する中で『訪日客』による売上が7カ月連続で増加となっています。今後もこうした『訪日客』による好調な消費が、日本経済の大きな下支え要因の1つとなりそうです。

### ここも チェック！

2017年7月19日 日本の『景気拡張』、戦後2番目が視野に  
2017年7月 6日 『路線価』が上昇、好調経済と訪日客が寄与

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。